

第107回全国高等学校野球選手権広島大会 大会要項

- 1 主 催 一般財団法人 広島県高等学校野球連盟・朝日新聞社
- 2 共 催 広島県教育委員会
- 3 後 援 広島市・三次市・呉市・東広島市・尾道市・三原市・福山市各教育委員会
- 4 期 日 令和7年7月5日（土）～26日（土）（雨天順延、予備日、休養日を含む）
- 5 会 場 MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島、Balcom BMW Baseball Stadium、鶴岡一人記念球場、東広島運動公園野球場、ぶんちゃんしまなみ球場、やまみ三原市民球場、エブリイ福山市民球場、電光石火きんさいスタジアム三次
- 6 試合方法 (1) トーナメント方式
(2) 得点差によるコールドゲームは5回以降10点、7回以降7点差以上とする。ただし、決勝戦は除く。
(3) 天候状態などで審判委員が試合の途中で打ち切りを判断した場合は、行われた回数に関係なく、翌日以降に勝敗を決する（通常は9回、延長回ならびにタイブレークになった場合も含む）まで継続試合として試合を行う。（高校野球特別規則20及び22）。
(4) 延長10回以降はタイブレーク制（無死一・二塁の継続打順）を実施し、15回を終了し決着していない場合はそのまま試合を続行する。ただし、1人の投手が登板できるイニング数については15イニング以内を限度とする。（高校野球特別規則23）
(5) 1人の投手が投球できる総数は1週間500球以内とする。（高校野球特別規則28）
(6) 選手の体調管理・熱中症対策として、5回終了時に整備も含め8分間のクーリングタイムを設ける。詳細は実施要項にて確認すること。また、9回終了時に試合が終了していなければ、整備等も含め5分間の給水時間を設ける。
(7) 照明施設がある球場は、ナイターを行うこともある。
(8) 日程変更のときは球場の変更もある。
- 7 試合規則 令和7年度公認野球規則、アマチュア野球内規、高校野球特別規則、広島県高等学校野球連盟試合細則及び注意事項による。
- 8 選手資格 日本高等学校野球連盟 令和7年度大会参加選手資格規定に準ずる。
- 9 試合球 (一財) 広島県高等学校野球連盟使用球
- 10 出場人数 責任教師・監督・記録員各1名、選手20名以内
- 11 審判委員 (一財) 広島県高等学校野球連盟 審判部
- 12 表 彰 優勝校には優勝旗、優勝盾、優勝メダル、表彰状を授与する。準優勝校には準優勝盾、準優勝メダル、表彰状を授与する。
- 13 申込期限及び変更届等提出先
＜申込期限＞令和7年6月5日（木）17時（厳守）
※加盟校周知済

＜変更届等提出先＞
※加盟校周知済
- 14 登録変更 登録選手の変更は、令和7年7月1日（火）17時までに変更届を変更届提出先へPDF送信すること。背番号のみの変更はできない。同日以降、けが・病気（学校保健安全法施行規則第18条に定める感染症）により選手登録を変更せざるを得ない場合のみ、試合前日までに変更届をPDF送信・必着をもってこれを認める。
変更届の原本は、試合当日、各球場責任者に提出すること。試合日（週休日）当日に急遽変更が生じた場合は、管理職と必ず連携したことが前提で、公印が押印されていない変更届を球場責任者に提出することを認める。
 - * 試合前日・当日に変更が生じる場合は、所属地区代表理事及び球場責任者に電話により報告すること。
 - * 事務局の業務終了後から当日に変更が生じた場合は、後日、変更届（公印押印）のPDFファイルを事務局まで送信すること。

＊ 感染症による変更の場合のみ、選手変更した者を再登録する場合、感染が確認されなければ、次試合から可とし、感染を確認すれば、原則として同規則第19条の出席停止期間を経過してからとする。

15 抽 選 会 令和7年6月20日（金） 13:30（責任教師連絡会12:00同会場）
※加盟校周知済

16 開 会 式 令和7年7月5日（土） 10:00～ MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島（広島市民球場）
〒732-0803 広島市南区南蟹屋2丁目3-1 電話（082）568-2777

17 入 場 料 大人1,000円、中高生100円、小学生以下無料、学校応援団無料
※当日、所定の用紙を提出すること。

18 パンフレット料 パンフレット1部 1,000円、50周年記録集1部 1,500円、70周年記録集1部 200円

19 健康管理等（1）出場選手の試合中の事故については、主催者による応急処置を行うが、それ以降は各校の責任で措置すること。
（2）出場選手の健康管理、生徒指導などについては、各校で責任をもって遺漏のないように措置すること。

20 報道に関する規定・その他

大会期間中の選手・指導者らの肖像、映像、予め提出された個人情報など（以下「肖像など」という）の扱いは日本学生野球憲章第25条の規定を準用する。大会期間中の肖像などの使用及び利用許諾等は主催者に一任し、主催者及び主催者から許諾を得た者が記事、放送、出版物に使用することを承諾する。再利用についても同様とする。「選手資格証明書」（健康証明書を含む）などの書類に記載されたデータは、主催者が大会運営のために使用するほか、報道各社に提供する。また、主催者が監修、編集、販売する大会パンフレット等に使用することがある。

21 そ の 他（1）参加にあたっては、保護者から選手の健康を確認したうえ、大会参加の「参加同意書」を得ること。「参加同意書」は当該校校長が保管する。
（2）「選手資格証明書」（健康証明書を含む）を野球ねっとより印刷し、3部（うち2部はコピー可。押印はすべてに）を抽選会当日に持参し、受付時に提出すること。
（3）出場選手は、試合当日、出場登録通りの背番号が付いたユニフォームを着用すること。
（4）責任教師・監督を変更する場合は、提出先に変更届をPDF送信すること。（試合当日でも可）ただし、コピーを必ず試合会場に持参し、メンバー交換のときに提示すること。
（5）攻守決定は試合開始予定時刻の1時間前とし、責任教師は所定のオーダーシート3部（電光石火は5部）を持参のうえ、主将及びテーピングが必要な選手を引率し、各球場で指示された場所で攻守決定に立ち会う。第1試合の場合は試合開始予定時刻の40分前とする。決勝については、準決勝終了後、当該校に別途連絡する。
（6）補助員（ノック補助及び荷物運び）として、背番号のない選手5名以内まで球場内に入ることを認める。
（7）球場内に入る際、責任教師・監督・記録員・選手・補助員は、必ず左胸に選手章を着用すること。
（8）責任教師は、球場に到着したら大会本部に到着を報告するとともに、校歌（CD・1番のみ・歌詞）、「投球数集計表」（初戦を除く）を提出する。
（9）第1試合のベンチ入り及びグラウンドへの入場可能時間は、試合開始予定時刻の1時間前とする。決勝については準決勝終了後、当該校に別途連絡する。
（10）ボールパーソンは、原則、試合を行う両校の野球部員（最大3名）で行う。
＊人員が確保できない場合は、不足分を球場責任者が手配を行う。
（11）ロジンは、連盟で投手用に1個（両チームで共用）、打者用に両校に1個ずつ用意する。
（12）本大会開幕後、大会期間中の練習試合については、各チームの初戦を迎えるまでに限り、県内チームとの練習試合を認める。
（13）「熱中症特別警戒アラート」が広島県内に発令された場合、全試合を中止する。最終判断は、当日の朝、天候の変化を見極め行う。
＊「熱中症特別警戒アラート」は、気温と湿度などから算出する指標「暑さ指数」が県内の全地点で35以上になると予測された場合、前日14時ごろに発表される。